

松本学研究発表勉強会2026 スケジュール

Session Program Matsumoto Study 2026

2026年7月25日現在

2026年月日 Date	曜 Day	時間 Time	発表者(敬称略) Presenter	テーマ Theme	要旨 Synopsis
9月26日	土	14:00-14:45	村上さよ子	私にとって「松本学」って何? ーそれは数々の体験活動から始まったー	私にも「松本学」といえる学びがあっただろうか?この30年間好きだからこそ続けることのできた活動を振り返って探してみました。多方面に興味を持った結果がこうなった、という話をどうぞ聞いてください。
		15:00-15:45	高久 拓	「松本ぶらぶら地図」プロジェクト ～あなたの研究成果を地図にしませんか?	「松本学」の研究成果や、松本の過去から未来の姿をGISで可視化する、Google Mapとは異なるWEB地図づくりを紹介します。行政・公共機関のオープンデータとも連携し、まち歩きや文化財調査に活用できる地図の可能性を、事例とともに示します。
9月27日	日	14:00-14:30	平田真理	御山内絵図面	安政2年(1855)400cm×320cmの山の絵図面はなぜ作られたのか、 杣人のくらし(野荒し柱の立つ村)について
		14:45-15:45	神部邦郎	○天守の分類と12天守の詳細 ○戦国時代の歴史に松本城はどう係わったか?	○天守の分類 現存天守 復元天守 復興天守 模擬天守 ○12天守の内容 築城年 特徴など 戦国時代 応仁乱～武田、上杉、織田、豊臣、徳川時代を中心に紐解く 歴史散歩
10月3日	土	14:00-14:45	深澤和歌子	『峯谷樋橋軍記』ー浪士が村にやって来た一戦々 恐々の村びとたち	幕末、松本・諏訪両藩の連合軍は京都を目指す水戸浪士・天狗党を和田峠樋橋村で迎え撃ちました。戦場になって恐れおののく村びとのリアルな姿を、博物館資料の古文書から紹介します。今年の続きです。
		15:00-15:30	杉田千織	最近の松本のカータリ ムーブメント	第7期市民学芸員養成講座のテーマである「夏の行事」の中から長年かかわりを持ってきたカータリ人形(ワークショップ)が、どのように広がっていったのか、そしてカータリとはなんだったのかを、独自の視点でまとめるものです。
10月4日	日	14:00-14:45	百瀬将明	「松本の石造文化財」を訪ねる	約50年前に松本市教育委員会から刊行された「まつもとの石造文化財」に所収の石仏などを、あらためて訪問、確認した結果を報告。今回は芳川地区を訪問しました。
		15:00-16:00	増田徹夫	「校歌」松本の小学校における明治・大正・昭和の 校歌の変遷(開智小、源池小、旭町小)	明治・大正・昭和と時代によって校歌の目的意識が異なる。明治期の開智学校、大正期の新村小学校、昭和期の源池小学校と旭町小学校の校歌を通して、 どの様に校歌が作られたかをさぐる。
10月17日	土	14:00-15:00	深澤和歌子	民藝100年・柳宗悦が松本に遺したもの、いま伝え たいこと	松本でも民藝運動を指導した柳宗悦。「民藝」の原点・朝鮮陶磁をきっかけに 朝鮮との交流を実践した浅川巧と、理論化した柳。宗教哲学者・柳が民芸運動 の初期に発した鮮烈なメッセージを、ふり返ってみます。
		15:15-16:00	齊藤孝資	浅間温泉の芸者衆文化	浅間温泉は古来から知られ、松本藩城主の御殿湯もありました。明治時代以降 には養蚕の買付の為全国から訪れる人が多く、これに伴い旅館が増え芸者衆も 誕生します。明治・大正・昭和としての芸者文化が生まれます。
10月18日	日	14:00-14:30	花岡由梨	問屋街から観光商店街へ中町発展の歴史	中町商店街では、1980年代後半より、推進協議会が蔵を活かした歴史的町並み の整備に向けたハード面を、振興組合が商店街の活性化に向けたソフト面を と、地域が一体となって取り組んできた歴史を紹介します。
		14:45-15:15	上原純子	戸田の四術から読み解く武士の精神 ー槍・砲・鷹・忍と武士道ー	市民学芸員として調べた戸田家伝来の「四術」すなわち槍術・砲術・鷹匠・忍 術の特色を解説します。武士の起源や新渡戸稲造の『武士道』にも触れつつ、 地域に根ざした武家と武士の精神性を多角的に紐解きます。
		15:30-16:00	米山文香	風穴を使った夏秋蚕の蚕種製造業が盛んで全国に 知られた松本平、その背景	稲核が風穴利用の嚆矢、国の蚕業試験場の誘致、片倉の普及団、蚕種消毒普及 団、墓石に刻まれた蚕種製造業、自由民権運動とのかかわり
10月24日	土	14:00-14:30	田中清司	松本地域のお稲荷様	松本の街中を歩くと多数のお稲荷様に遭遇します。 神社ではなく身近な小さな社で、どんな目的で、何を願っているのか、なぜ松 本に多いのか?
		14:45-15:15	蘆名秀行	水野・戸田時代、寛永19年(1642)～明治4年(1871) の財政状況と米の流通	年貢米を換金し生活費を賄う大名・武士。その年貢米の流通を調べてみましょ う。
10月25日 英語発表 Oct.25 Sessions in English	日 Sun	14:00-14:30	林 信孝 監修:百瀬英昭 HAYASHI Nobutaka co-researcher: MOMOSE Hideaki	松本地域の子どもの中心の民俗行事 ーその本質・効用・危険ー Child-centered Folklore Events in Matsumoto Area -their nature, benefits and risks-	松本地域の子どもの中心の民俗行事（三九郎、ぼんぼん、青山様）の本質を紹 介し、その効用・危険性を伝え、松本地域に居住する外国人がその子どもに参 加させて良いかどうかの判断の助けとしたい。 I will introduce the nature of folk events centered on children in the Matsumoto area (Sankuro, Bonbon, and Aoyama-sama), outlines their benefits and potential risks, and aim to help foreign residents in the area to decide whether to allow their children to participate such events.
		14:45-15:15	入江さやか IRIE Sayaka	松本市における災害時の訪日外国人対応の課題 How do we support foreign visitors during disasters in Matsumoto?	松本市を訪れる外国人は年々増加しており、災害発生時の安全確保や情報提供 は防災上の大きな課題である。2025年4月18日の地震の翌日に実施した緊急アン ケートの結果と、そこから見えた課題を報告する。 The number of foreign visitors to Matsumoto City has been increasing year by year. However, ensuring their safety and providing information during disasters cannot be considered sufficient. This report presents the results and issues identified from an emergency survey conducted the day after the earthquake on
10月31日 英語発表 Oct.31 Sessions in English	土 Sat	14:00-14:30	土屋絵里佳 TSUCHIYA Erika	松本での和紙づくり ー紙の種類と素材の考察ー Washi Papermaking in Matsumoto: Approaches to types and materials of paper	全国的に紙作りが盛んになっていた江戸時代、松本でも和紙が作られていた記 録が残っています。どのような紙が、どのような素材でつくられていたのか を、藩庁へ納められた紙の記録、初の製紙技術のテキスト「紙漉重宝記」など を手掛かりに考察します。 Records indicate that washi paper was being produced in Matsumoto during the Edo period, when paper-making was flourishing throughout Japan. I will examine the types of paper and their materials, using records of paper submitted to the local government and the earliest-known text on papermaking techniques, Kamisuki-chohoki, as primary sources.
		14:45-15:15	林 信孝 HAYASHI Nobutaka	辞書に載っていない日本語表現 ー松本地域の場合ー The Japanese expressions you can't find in the dictionary -particularly in Matsumoto Area-	外国人が日本語を学ぶとき、標準語で学ぶ。辞書も教科書もそれに対応したも のとなっている。方言に接しても、確認することができない。松本方言で、標 準語と違う例の意味・用法の違いを解説する。 When non-native speakers learn Japanese, they study the standard dialect; dictionaries and textbooks are designed accordingly. Consequently, when they encounter regional dialects, they often have no way to verify the details. I will explain the differences in meaning and usage between the Matsumoto dialect and standard Japanese, using specific examples.
		15:30-16:15	辻本淳也 TSUJIMOTO Junya	収穫するハチミツから見える松本市の自然の特徴 What Honey Reveals about Nature in Matsumoto	松本市で春から秋に採取される季節のハチミツから見える、自然の豊かさや地 理特性について。また、日本の養蜂の問題点や今後の展望などについてお話し します。 Discover how seasonal honey reflects Matsumoto's rich natural environment and geography, and learn about the challenges and future of beekeeping in Japan.
11月1日	日	14:00-15:00	藤山静雄	ホテルの生態とホテルも棲める良い自然	松本地方に棲むゲンジボタル、ヘイケボタルの生態を解説すると共に、これら ホテルが何故減少したのか?ホテルを復活させるにはどうすべきか?筆者らが行 う『ホテルも棲める良い自然』の活動紹介をします。
		15:15-15:45	内川潤季	解き明かそう・遺そう松本市の生物相	「生物相」とは、特定の地域の生物の種類組成のことです。生物多様性に注目 が集まる昨年、その基礎情報として松本市の生物相を調べ記録することは重要 です。その調査方法や現状を、昆虫を中心に紹介します。